

## 単元名 水遊び

配当時間 10時間

- 単元の目標 (1) まねっこ遊びやリレー遊びなどで、いろいろな姿勢で歩いたり、自由に方向や速さを変えて走ったりすることができる。また、石拾いや伏し浮きなどで、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろな姿勢でもぐったり浮いたりすることができる。
- (2) 水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。
- (3) 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりしようとする。

## 標準的な展開例

02100105\_001

【準備等】 ビート板、フラフープ、ロープ、基石、切ったホースなど

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 水遊びのねらいと内容を確認し、学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のねらいや進め方を知る。</li> <li>★水に浮いたりもぐったりしながら、水遊びを楽しもう。</li> <li>○マナーや安全な運動の仕方について知る。</li> <li>○水慣れをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まねっこ遊び、じゃんけん遊び、水かけっこ、鬼遊び電車ごっこなど</li> </ul> </li> </ul> <p>2 水に慣れ親しむ水遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○まねっこ遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・えさをとるあひるさん、水浴びするぞうさん、あわをふくかにさんなど</li> </ul> </li> <li>○じゃんけん遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・負けたら水に顔をつける、勝ったらもぐる、水中じゃんけんなど</li> </ul> </li> <li>○電車ごっこをする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水かけっこ遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2人組で、グループで、全員で</li> </ul> </li> <li>○鬼遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・こおり鬼、子とり鬼、手つなぎ鬼など</li> </ul> </li> <li>○反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかったこと、できるようになったことなど</li> </ul> </li> </ul> <p>3～5 水に慣れ親しむ水遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水にもぐって遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロープくぐり、トンネルくぐり、宝探しごっこなど</li> </ul> </li> <li>○水に浮いて遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・くらげ浮き、だるま浮き、つかまり伏し浮き、伏し浮き、けのび、ばた足など</li> </ul> </li> <li>○反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかったこと、できるようになったことなど</li> </ul> </li> </ul> <p>6～8 水にもぐったり浮いたりする水遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○タクシーごっこをする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○宝探しごっこをする。</li> </ul> <p>9～10 水中ゲーム大会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水中ゲーム大会をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビート板リレー、宝探しなど</li> </ul> </li> <li>○単元のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に気を付けて水遊びを楽しむことを確認する。</li> <li>・プールのきまりをしっかりと確認し指導する。</li> <li>・1年生で学習したことを、想起させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の様子から児童の実態を把握し、以下に示す遊びから選択して行う。</li> <li>・まねっこ遊びを通して、「歩く・走る」「顔をつける」「息を吐く」などの動きを身に付けさせる。</li> <li>・じゃんけん遊びを通して、「顔をつける」「目を開ける」などの動きを身に付けさせる。</li> <li>・5～6人グループで行わせる。</li> <li>・先頭が運転手、最後尾が車掌となり車掌に指示を出させる。</li> <li>・ビート板を置いて、障害物にしたり、フラフープを置いて水中トンネルにしたりする。</li> <li>・電車ごっこを通して、「歩く・走る」「水に顔をつける」「目を開ける」「息を吐く」などの動きを身に付けさせる。</li> <li>・顔に水がかかっても抵抗なく遊べるようにさせる。</li> <li>・鬼遊びを通して、「歩く・走る」などの動きを身に付けさせる。</li> <li>【評】きまりを守って楽しく水遊びをする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・宝探しごっこでは、基石など水に沈むものを置き、もぐって探させる。</li> <li>・浮いた後、どうやって元の状態に戻ればよいかわかる不安になる児童がいるので、事前に立ち方の指導をする。（あわてずに、水を手でかきながら最初にかかとをつけて立つ。）</li> <li>・2人1組で行い、タクシー役の児童は手のひらにもう1人（お客さん）の手を乗せ、決めた場所まで運ぶようにする。お客さん役の児童は、体の力を抜き、浮いた状態を体験させ、慣れたら手を離させる。顔をあお向けにした状態で下から手で体を支えて運ばせる。</li> <li>・基石など沈むものを置き、もぐって探させる</li> <li>・宝探しごっこを通して、「水に顔をつける」「目を開ける」「息を吐く」「浮く」などの動きを身に付けさせる。</li> <li>・できるようになったことを生かしながらかえた遊びやゲームで楽しませる。</li> <li>【評】水中ゲーム大会を通して、「知識・技能」を評価する。</li> </ul>

【 備 考 】

※学校の実態に応じて時間数を柔軟に変更してもよいこととする。

水遊びは、2年生の児童にとって、とても楽しみにしている運動の一つであるが、中には水に恐怖心を抱いている児童もいる。展開例では、単元の前半で1年生で行った水に親しむ運動を行い、水に慣れさせる。そして、後半で水にもぐったり浮いたりする運動を行い、中学年の浮く・泳ぐ運動へと発展させる。

＜運動遊びが苦手な児童への配慮の例＞

- ・より浅い場所で歩いたり、しゃがんだ姿勢でゆっくりと移動したりするなど、段階的な遊び方を工夫する。
- ・また、友達の後ろに続いて移動したり、手で水を力強くかいたりすることを助言する。
- ・少しずつ顔に水がかかるようにシャワーを浴びたり、顎→口→鼻→目へと徐々に水につける部分を増やしたりする。
- ・もぐる遊びでは、輪の深さや数を変えたり、二人組でつくった手のトンネルをくぐったりする。
- ・浮く遊びでは、息を大きく吸って止めたり、顎を引いて頭を水の中につけたり、無駄な力を抜いて体を真っ直ぐにしたりすることを助言する。
- ・バブリングでは、手の平にすくった水を吹き飛ばしたり、水面に浮いたものを吐いた息で移動させたりするなど、顔をつけずに息をまとめて強く吐くことのできる遊びをする。
- ・ボビングでは、友達と手をつないで一緒にボビングをするなどの場を設定したり、「プクプクプク（弱く吐く）、ブハ！（水面を出たら大きく強くまとめて吐く）、スー（すぐに吸う）」などの呼吸のリズムのイメージができる言葉を助言したりする。